

## 令和3年度社会福祉法人三宅町社会福祉協議会事業計画について

### 【総務・地域福祉課】

令和3年度も新型コロナウイルスに対する対策に配慮しつつ、つながりを絶やさない、住民と一緒に作るみんなが安心して暮らせるまちづくりを目指して事業に取り組んでまいります。令和3年度は令和元年度に作成されました、三宅町社会福祉協議会の地域福祉活動計画の2年目となり、昨年度に引き続き、社協が取り組む4つの重点項目①ボランティアセンターの充実②居場所づくり③相談機能の充実④災害対策に沿って事業を展開してまいります。

①ボランティアセンターの充実では、地域活動やボランティア活動を支援し、地域活動の活発化を図りながら、社会福祉協議会としても事業によるボランティアメニューの立案を行い、年1回のボランティア講座の企画を行い、新規の活動者の発掘を行います。

②居場所づくりでは、みやけフィットネス オアシスの運営、ふんわりサロン、あざさふれあい食堂、子どもの学習支援と居場所として「ここあ（COCOA）」の実施、三宅町特産品生産協力事業を行うなど、社会福祉協議会だけではなく、他機関と連携・協働を図りながら、誰もが地域でやりがいを持ち、生き生きと暮らせるまちづくりを目指します。

③相談機能の充実としては、月1回の心配ごと相談により相談員による相談の機会の確保、ふんわりサロンでの日常生活における相談の受付を行うとともに、令和元年度より受託しております生活支援コーディネーターなど、地域の様々な活動者とのつながりを強化し、相談をしやすい関係づくりを行う等、地域に出向いてのニーズ調査や相談機能の充実を図り、地域より出てくるニーズを検討する仕組みづくりを行政と連携して行ってまいります。

④災害対策では、近年頻発しております全国各地での災害に対し、三宅町で災害が起こった時の為の対策を進めていきたいと思えます。令和2年度は社会福祉協議会の職員向けの講習会と災害ボランティアセンター立ち上げの訓練を行いました。令和3年度は、行政や関係機関、福祉活動団体や事業などに対する講習会を行い、災害に対する意識を高めるとともに、センターが立ち上がった際の協力者を確保できる様に働きかけてまいります。

### (1) 地域福祉事業の実施

- ・小地域福祉活動の充実
- ・福祉出前講座の実施
- ・福祉機器貸出事業
- ・安心、安全なまちづくりのための支援事業
- ・居場所づくり事業（ふんわりサロン等）
- ・三宅町特産品生産協力事業（畑を使った居場所、生きがいづくり）
- ・広報活動（ボランティア・福祉の情報誌社協だよりの発行年6回、HPの充実）
- ・総合相談事業（心配ごと相談）
- ・福祉教育に関する事業
- ・福祉車両貸出事業
- ・ボランティアセンターの設置・運営
- ・夏休み子ども教室の開催
- ・みやけフィットネス オアシスの運営
- ・災害対策及び防災に関する事業
- ・あざさふれあい食堂の企画、運営

### (2) 公益事業・受託事業

- ・高齢者の生きがいと健康づくり事業
- ・三宅町保健福祉施設あざさ苑の管理及び運営
- ・子どもの「心と学び」サポート事業・ここあ（COCOA）
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・障害者教室開催事業
- ・日常生活自立支援事業
- ・奈良県フードレスキュー事業

### (3) その他地域福祉事業

- ・赤い羽根共同募金運動の充実
- ・善意銀行の運営
- ・福祉関係団体の活動支援
- ・日本赤十字社の活動支援
- ・ボランティア団体活動支援